

陸軍

自十二月六日
至十二月十四日

戰鬥詳報

第一百十四師團司令部

30

0297

第一 戰鬥經過、概要 目次

其一 十月六日溧水ニ於ケル師團長、部署

其二 秣陵関附近、戰鬥

其三 方山附近、戰鬥

其四 將軍山附近、戰鬥

其五 南京附近、戰鬥

第二 所見

第三 我損害、使用彈藥、敵、遺棄屍体、戰利品

第一 戰鬥經過ノ概要

32

其一 十月六日溧水ニ於ケル師團長ノ部署

十月四日奥支隊(實力約三大隊)ハ先ツ溧水北方地区ニ向ヒ敵ヲ追撃シ溧水―南京道方向ヨリスル師團主力ノ追撃ヲ容易ナラシムヘキ任務(二四師作命甲第四十九号)ヲ以テ前進シ午後四時溧水ヲ完全ニ占領セリ師團長ハ溧陽ニ於テ右報告ニ接シ神速ニ南京ヲ占領スル目的ヲ以テ先ツ秣陵関ニ向ヒ前進スルニ決シ直ニ師團ノ主力ヲ溧水ニ推進スルノ處置ヲ講スルト共ニ奥支隊ニ對シテハ溧水―秣陵関―南京道方面ヨリスル師團主力ノ攻撃ヲ容易ナラシムルヲ速ニ南京ニ近ク地步ヲ獲得シ當面ノ敵情地形ヲ搜索スヘキヲ命セリ(二四師作命甲第五十二号)斯テ師團長ハ強行軍ヲ以テ晝夜前進ヲ繼續シ六日朝師團主力ト相前後シテ溧水ニ進入セリ然ルニ奥旅團ハ暗號翻譯意ノ如クナラサリシ爲ニ二四師作命甲第五十二号ヲ了解セス配屬工兵中隊長ヲ報告竝ニ意見具申ニヨリ溧水―秣

0299

陵関道ハ各所ニ於テ橋梁破壊セラレアリテ之カ修復ニ相當ノ時日ヲ要ス
ルヲ以テ寧ロ湖熟鎮方面ヨリ前進スルヲ以テ地形上迅速容易ナルコトヲ知ルニ
及ヒ神速ニ南京ニ達スル爲ニ橋梁ナキ秣陵関經由ノ谷地ヲ前進スルヨリ寧
湖熟鎮方面ヨリ高地脚ヲ制シツ間道ヲ前進スルヲ得策トスヘシトノ地形
判断ト相待チ独断ヲ以テ主カヲ以テ湖熟鎮方面ニ前進スルニ決シ六日未明
溧水北方地区出発一部ヲ以テ秣陵関附近ニ主カヲ以テ湖熟鎮方面ニ前進
ヲ開始セリ

師團長ハ六日朝溧水ニ於テ奧旅團ヨリ派遣セラレタル連絡將校ヨリ初テ之ヲ
知リ事ノ意外ナルヲ感シタルモ熟慮ノ後奧旅團ノ独断ヲ認ムルト共ニ師團主カ
ハ秣陵関北方高地向ヒ前進スルニ決シ直ニ之カ部署ヲ爲セリ(一二四師作命
甲第五十三号)

乃テ奧旅團ニ直ニ參謀(宇垣少佐)ヲ派遣シテ之ヲ傳達セシムルト共ニ奧旅團ヨリ
秣陵関方面ニ派遣シタル一部ヲ師團ノ直轄トラシメ秋山旅團以下ノ師團主カハ
奥秣陵関ニ向ヒ前進ヲ開始セリ(一二四師作命甲第五十三号)

二四師作命第四十九號

第百十四師團命令 十一月二日午後七時
於宣興

一 奧支隊ハ昨日溧陽ヲ占領シ其一部ハ本日南渡鎮ニ向ヒ前進シ
中支那方面軍ハ南京ヲ攻畧ス

上海派遣軍ハ十一月五日頃主力ノ行動ヲ開始シ重慶ヲ舟陽一勾谷
道方向ニ保持シ磨盤山山系西方地区ニ進出シ其一部ヲ楊子江左岸ニ
派遣ス集團ハ南京ニ向ヒ追撃ヲ續行ス

上海派遣軍ト作戰地境ハ巴亭橋鎮一黃金山鎮一天王寺十字路一
赤山ノ線トス

第六師團ハ長興一廣德一定準一洪藍埠道ヲ溧水西方地区ニ進
出シ爾后橫溪橋鎮一南京道方面ヨリ南京ニ向フ追撃ヲ準備ス

第十八師團ハ廣德一十字輔一建平一洪藍埠道ヲ先ツ小舟陽
鎮附近ニ進出シ爾后太平府一南京道方向ヨリ南京ニ向フ追撃ヲ
準備ス

國崎支隊ハ廣徳―建平―水陽鎮―太平府道方向ヨリ揚子江
左岸ニ進出ス

二 師團ハ魁ケテ南京城頭高ク日章旗ヲ掲クル目的ヲ以テ一意追撃ヲ續
行シ先ツ溧水北方地区ニ向ヒ驀進セントス
新ニ左ノ部隊ヲ配属セラレ

獨立機関銃第二大隊

戰車第五大隊

三 奧支隊ハ先ツ溧水北方地区ニ向ヒ敵ヲ追撃シ溧水―南京道方向ヨリ
ニ師團主力ノ追撃ヲ容易ナラシムヘシ

野砲兵第三大隊ノ配属ヲ解ク

四 秋山旅團ハ明三日溧陽ニ向ヒ前進スヘシ

第三、第四野戰病院ノ前進竝ニ宿營給養ヲ区處スヘシ

五 野砲兵第百二十聯隊(未到着部隊缺)及野戰重砲兵第十四聯隊ハ
第二天隊及聯隊段列半部隊ハ逐次溧陽ニ向ヒ前進スヘシ

六、歩兵第六十六聯隊第五中隊ハ宣興ニ在リテ同地ノ守備ニ任スヘシ

七、左記部隊ハ明三日午前八時宣興出發左ノ行軍序列ヲ以テ歩兵第百五十聯隊第一大隊長ノ区處ニ依リ徐舎鎮ニ向ヒ前進スヘシ

歩兵第百五十聯隊第一大隊(第二、第三、第四中隊及機關銃一小隊ヲ缺キ歩兵砲中隊ヲ属ス)

師團司令部

師團通信隊

歩兵第百二聯隊第三大隊(第十中隊缺)

衛生隊(三分ノ一缺)

本二日夜宣興ニ於ケル露營司令官ハ歩兵第百五十聯隊第一大隊長トシ

八、余ハ宣興ニ在リ

明三日自動車ヲ以テ徐舎鎮ニ至ル

師團長 末松中將

下達法

奥支隊ニ要旨ヲ電報シ他ハ命令受領者ヲ集メ口達筆記セム

0304

二四師作命甲第五十二號

第百十四師團命令

於三月五日午後七時
於楊塘村

一 狀況別紙情報記錄第三十、第三十一號、如シ

二 師團ハ神速ニ南京ヲ占領スル目的ヲ以テ明六日先ツ秣陵関ニ向ヒ前

進セントス

三 奥支隊ハ溧水―秣陵関―南京道方向ヨリスル師團主力攻撃ヲ

容易ナラシムル目的ヲ以テ速ニ南京ニ近ク地步ヲ確得シ當面ノ敵情

地形ヲ搜索スヘシ

四 余ハ楊塘村ニ在リ

本夜半出発溧水ヲ經テ秣陵関ニ向ヒ前進ス

師團長 末松中將

下達法

命令受領者ニ口達筆記セシム

二四師作命甲第五十三號

第百十四師團命令於^{二月六日}溧水午前九時半

一 師團主力ハ先ツ秣陵関ノ北方高地ノ線ニ進出シ續イテ本道ニ沿フ地

区ヨリ南京ヲ攻撃ス

二 奥支隊ハ湖熟鎮ヲ経テ前進シ師團主力ノ攻撃ヲ容易ヤラシムヘシ

秣陵関ニ派遣セシ歩兵大隊及工兵第一中隊ノ主力ハ自今余直轄

トス

師團長 末松中將

下達法

參謀ヲシテ傳達セシム

其二、秣陵関附近ノ戦闘(附圖其一参照)

十月六日夕師團追撃隊ノ先頭部隊タル歩兵第百五十聯隊第二大隊ハ李村附近ニ於テ李村北方ヲ占領ス敵ト觸接シ師團主力ハ祿口鎮附近以南ニ到着セリ

歩兵第百五十聯隊第二大隊ハ七日末明ヨリ當面ノ敵ヲ撃破シテ秣陵関ニ追進セシモ敵ハ秣陵関南端ヲ堅固ニ占領セル外其左右湖野村竝張山附近ニ亘リ陣地ヲ占領シ相當多數ノ機關銃追撃砲ヲ有シ其兵力少クモ一十ヲ下ラサシモノ如シ

師團長ハ祿口鎮ニ於テ右状況ヲ知り直ニ當面ノ敵ヲ捕捉殲滅スルニ決シ七日朝大槓左ノ如ク部署セリ乃チ秋山旅團長ヲシテ歩兵第百五十聯隊第二大隊歩兵第百二聯隊ノ三大隊聯隊機關銃隊及歩兵砲隊ヲ併セ指揮セシメ歩兵第百二聯隊第二大隊ヲシテ直ニ張山ヲ西南方ヨリ攻畧シテ速ニ金家村西側台地端ニ進出シ敵ノ退路ヲ遮断セシメ爾餘ノ一部ヲシテ秣陵関ノ敵ヲ攻撃セシム又騎兵大隊主力歩兵第六十六聯隊第二大隊ハ之ヲ迂

回隊トシテ更ニシノ外側ヲ陶吳鎮ヲ経テ馬家橋南側高地ニ進出シ退路遮断ノ完成ニ努メシムト共ニ步兵第六十六聯隊戰車第五大隊ノ輕裝甲車隊ヲ左追撃隊步兵第百五十聯隊第一大隊(ニ中隊缺)ヲ右追撃隊ト爲シ本道竝ニ其東方「クリーク」ニ沿フ道路方面ヨリ直路敵ヲ急追メクニ態勢ニテラシム

午前十時頃步兵第百五十聯隊第二大隊ハ秣陵関ニ突入セシモ中央橋床ハ敵ヲ爲破壞セラレアリ

大隊ハ遂次抵抗スル敵ヲ驅逐シテ前進シ工兵隊ハ其間ニテリテ橋梁ノ破壞位置ニ斜板ニヨリ通過施設ヲナス

此間歩兵第六十六聯隊長ハ其第一大隊ヲ独断秣陵関以西地ニ區ニ増加シテ同方面ノ敵ヲ攻撃セリ

斯クテ正午過第一線ハ秣陵関西北端水流ノ線ニ達セシモ对岸ハ二連ニ重輕機ヲ有ル敵之ヲ占領シテ外其後方台地モ又敵機關銃アリテ橋梁附近ハ敵十字火ノ集中ヲ受ケ且橋梁ハ敵ノ爲燃燒シテアリ

歩兵第三十三聯隊第二大隊、歩兵第六十六聯隊第一大隊、同聯隊砲中隊、工兵第二中隊、八直ニ橋梁入口ニ近ク重軽機関銃、歩兵砲等ヲ配列シ敵火ノ制壓ニ努ム一部ハ匍匐前進シテ対岸ノ敵ニ手榴彈ヲ投擲スル等極力対岸ノ敵ト交戦スルト共ニ各人所在ニ蒐集セル洗面器、器物等ニ水ヲ滿シテ敵火ノ中ヲ橋梁上ニ運搬シ消火ニ努ム次テ民家ノ戸板ヲ一擧ニ橋上ニ配列シ橋梁ノ應急修理成ルヤ間髪ヲ入レス午後四時頃歩兵第六十六聯隊第二大隊及戰車第五大隊ノ輕装甲車隊ハ歩兵重軽火機ノ有効ナル掩護射撃ノ下ニ直ニ橋梁ヲ突破前進シ縱隊ヲテ退却ラソアル約二午ノ敵ヲ所在ニ蹂躪シテ急追シ夜ニ入ルモ之ヲ續行シテ午後八時頃ハ高家庄ニ達セリ此日騎兵隊ハ所在ニ敵ヲ撃破シテ午後三時頃馬家橋南側ニ進出シテ敵ニ多大ノ脅威ヲ與ヘ敵兵退却ノ動機ヲ誘致シ秋山旅團亦遂ニ中動揺セル敵ヲ撃退シテ金家村西方台地ニ進出シ共ニ其兵力ヲ集結シテ師團主力ニ追及セリ

歩兵第六十六聯隊第二大隊ハ陶吳鎮ヨリ一意北進ヲ繼續シテ午後三時

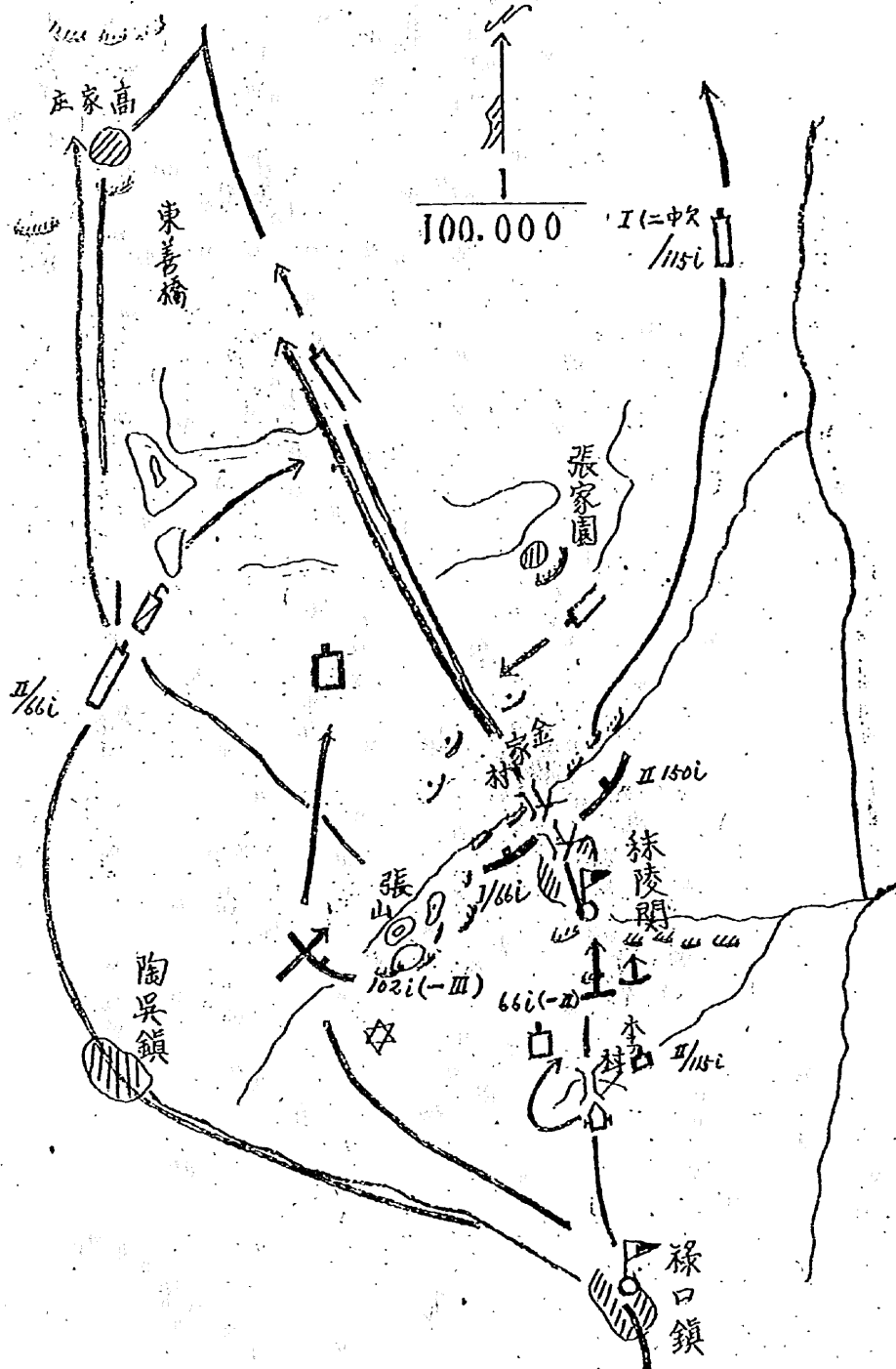
頃東善橋附近ニ達シ同地附近ヲ占領セ約千ニ三百名、敵ヲ攻シ午
後七時頃之ヲ撃破シテ高家庄西北方台地ニ進出セリ
本戦闘ニ於テ敵、遺棄死体二百カクモヲ下ラス捕虜三三名(中將校二名)ヲ得
タリ

我、損害戦死六員傷十八ナリ

0310

圖要過經鬪戰近附関陵練

日六月二十於



其三、方山東方地區ノ戰鬪

奧旅團主カハ六日午前七時半溧水北方高地ヲ出發シ途中約ニ三百ノ敵湖熟鎮ヲ占領シアルヲ知リ之ヲ攻撃シ午後三時半頃同地ヲ東西ニ流ル「クリーク」ノ線ヲ渡河進出シ午後五時頃其前衛咸田北方稜線ニ於テ「トーチカ」ヲ有スル堅固ナル敵陣地ニ遭遇シ之ヲ攻撃セシカ曰没トナリシヲ以テ主カヲ以テスル攻撃ヲ一時中止シ敵情地形ノ搜索ス

旅團長ハ當面ノ敵陣地ニ拘ルコトナク深ク穿貫的ニ攻撃スルニ決シ同日夜下黃墅方面ヨリ高廟方面ニ前進スル如ク部署セリ

斯クテ午前三時半行動ヲ開始シ黎明迄ニ西郷附近ニ達セリ然ルニ上黃墅附近ノ稜線上ニ「トーチカ」ヲ有スル敵既設陣地アリテ敵兵守備シアルヲ知リ直ニ其一部ヲ以テ攻撃シ主カハ夕刻頃迄ニ上黃墅ニ進出

セリ

然ルニ李家辺、杜家山、下黃墅ノ高地線上ニ多數ノ「トーチカ」ヲ有スル敵守備シアリテ戰況意ノ如ク進展セズ夜ニ入りテ更ニ夜間攻撃ヲ續行セズ

尚一、二、ト一チカ」ヲ奪取シ得タルニ過キス反テ敵ハ其ノ數ヲ増加スルノ候
向サヘテリ八日晝間引續キ力攻ニ努メタルモ依然トシテ攻撃進捗セズ
然ルニ旅團長ハ八日正午稍々前無線ヲ以テ師團ノ作戰地境（液遺
軍トテ集團間）並速ニ南京南方雨花台東方地区ノ戰鬥ニ參與ス
ヘキノ命令ニ接シ速ニ該方面ノ戰場ヲ離脱シ方山東側地区方面ヨリ
秣陵関ヲ經テ師團主力ニ追及スルヲ以テ時間的ニ且所師團主力ノ
戰鬥參與ノ爲ニ有利ナルヘント判断シ日没ヲ待チテ戰線ヲ離脱シ轉
進セリ

斯クテ九日末明龍都鎮西方渡場ニ架橋シ途中破壞セル橋梁ヲ補
修通過シテ、全日午後ニ時頃秣陵関ニ至リ爾后師團主力ニ追及シ
南京攻畧ニ參加セリ

其四 將軍山附近ノ戰鬪(附圖第二参照)

師團六七日夜追撃ヲ續行シテ高家庄附近ニ達シタルモ左追撃隊ハ前方及兩側ノ三方面ヨリ敵ノ急襲火ヲ蒙リ間モナク追撃砲彈ノ飛來スル等敵ノ抵抗カハ漸ク大ナルヲ思ハシムルモノアリ

左追撃隊ハ既ニ東善橋附近ニ進出シアリシ迂回隊ト相携ヘテ夜間攻撃ヲ敢行シタルモ之ヲ抜クコト能ハス此處ニ於テ師團長ハ將軍山中ハトスル敵ノ眞面目ナル抵抗ニ會セルモト判断シ速ニ之ヲ突破シ南京方向ニ進軍スルヲ決シ八日朝左ノ如ク部署セリ(二四師作命甲第五十五全第五十六号)

乃チ歩兵第六十六聯隊ノ主カヲシテ東方ヨリ秋山旅團長ノ指揮スル歩兵第百二聯隊ノ主カヲシテ西方ヨリ共ニ將軍山ノ敵ヲ包圍攻撃マシムル然ルニ銀尾山楊山附近ニ機關銃迫撃砲ヲ有スル優勢ナル敵陣地ヲ占領シテリテ間斷ナク本道方面ヲ側射セリ
諸隊ハ夜暗戰場附近ニ進ハシテ末々附近ノ地形ヲ十分ニ認識シ得ガ

ル爲遂ニ敵ノ射撃ニ牽制セラレテ歩兵第六十六聯隊歩兵第百二聯隊共ニ其攻撃目標ヲ誤リ歩兵第六十六聯隊ハ史家村方向ニ歩兵第百二聯隊ハ楊山附近ノ鉄條網ヲ有ル敵ニ対シ攻撃ヲ開始スルニ至リ斯テ兩隊ハ頑強ニ抵抗スル當面ノ敵ヲ撃破シ遂次之ヲ壓迫シ同日夕刻ニ歩兵第六十六聯隊ヲ以テ蔭樹村銀尾山ノ線ニ歩兵第百二聯隊ヲ以テ斗山ニ進出シタルモ歩兵第百二聯隊ヲ以テ直ニ其兵カヲ撤シテ灣里西北地区ニ之ヲ集結セシメタリ

此處ニ於テ師團長ハ灣里三叉路ニ至リ秋山旅團長ノ指揮スル歩兵第百二聯隊ヲ以テ直ニ永慶庵附近ニ展開シ九日拂曉ヨリ將軍山方面ノ敵ヲ攻撃セシメ新ニ追及セル野砲兵第百二十聯隊（大隊）中隊（缺）ヲ以テ灣里北側ニ陣地ヲ占領シ之ニ協力セシムルト共ニ歩兵第百二聯隊ヲ灣里附近ニ集結シテ師團ノ直轄トスニ決シ午後八時

之ヲ部署ヲ爲セリ

而シテ灣里ヨリ陳墟橋ニ至ル道路ハ意外ニ不良ニシテ路幅狭ク砲兵ヲ

通セザル箇所多キニ鑑ミ工兵聯隊ニ命シテ特ニ之カ改修ニ任セシム
二四師作命甲第五十七号)

之ヨリ先第六師團ノ一部ハ正后頃以末逐次戰場附近ニ到着シ師
團ニ合シテ既ニ攻撃スル部隊アリ其砲兵ノ一部ハ灣里附近ニ陣地ヲ占
領シテ有利ニ師團ノ戦闘ニ協力セリ

兩師團ノ參謀長ハ直接會見シ協議ノ後概ネ南京南門韓府山
東端西灣村ヲ連ヌル線ヲ以テ作戰地境トセシカ夜ニ入り更ニ協議シテ
此地境ハ將軍山西端ノ周家村西方約五百米ノ無名部落ノ中華門
(南京南門)ノ線ニ変更セラレタリ

九日末明ヨリ秋山旅團ハ機關銃迫撃砲ヲ有スル敵ト一チカ陣地ニ
對シテ齊ニ攻撃前進ヲ開始シ將兵ノ決死的肉迫攻撃ニヨリ戰況有利ニ
進展シテ同日夕刻ニ將軍山南麓ニ近ク進出セリ

旅團長ハ十日末明ヲ期シ更ニ將軍山ヲ攻畧スルニ決シ九日夜部署スル
所アリ

此ノ夜師團長ハ主力方面ニ轉進シ末ル奧旅團ヲ掌握シテ其司令部ヲ菓園村ニ推進セリ

然ルニ將軍山附近ノ敵ハ夜ニ入りテ退却セルノ徵アリ此處ニ於テ秋山旅團ハ直ニ將軍山東側地区ヲ追撃シ前進シ師團長ハ同旅團ヲ先ツ藤田橋ニ向ヒ追撃セルムト共ニ師團主力ヲ以テ直ニ之ニ追隨シ追撃スルノ部署ヲナセリ(二四師作命甲第五十八号)

本戦闘ニ於テ敵ニ與ヘタル形而下ノ損害ハ末々明瞭ナラサルモ各方面共々大ノ損害ヲ與ヘタルコトヲ確信シアリ

我損害ハ八九ノ兩日ヲ以テ戦死約五十員傷約百八十ト概算セラル

0317

鬪ニ参加スヘシ

八 輕裝甲車隊ハ藤田少佐ノ指揮ニ依リ一部ヲ以テ將軍山ノ攻撃ニ

主カヲ以テ師團ノ追撃ニ協カスヘシ

九 工兵第一中隊(ニ小隊缺)ハ自今余ノ直轄ス

十 歩兵第百ニ聯隊第三大隊(第九第十中隊缺)第百五十聯隊

第三大隊(第五中隊缺)第百十五聯隊第三中隊ハ豫備隊トナリ

高家庄ニ位置スヘシ

土 余ハ高家庄ニ在リ

後花神庙ニ向ヒ前進ス

師團長 末松中將

下達法

セ日夕以來各別ニ命令シ綜合シタルモノヲ命令受領者ヲ

集メ口達筆記セシム

二四師作命甲第五十六號

第百十四師團命令

十二月八日午前七時半
於高家庄

一 敵情別紙要圖ノ如シ

左追撃隊ハ將軍山南側高地ヲ占領シ續イテ將軍山敵ヲ攻
撃中ニシテ其一部ハ遠ク本道方向ニ在リテ北方ニ進出シテリ
輕裝甲車ハ此方面ノ追撃ニ協力中ナリ

第六師團ノ先頭部隊ハ午前十時頃高家庄ヲ通過シ水口方
向ニ前進セリ

二 師團ハ依然南京ニ向テ追撃ヲ續行セントス

三 秋山旅團ハ現暗山ノ敵ヲ其右側背ヨリ攻撃シ本道上蘇田村方
向ニ進出スヘシ

四 余ハ高家庄ニ在リ後蘇田村ニ向ヒ前進ス

師團長 末松中將

下達法

筆記 セルモノヲ 傳令ヲ以テ交付ス
備考 地名八十萬分ノ地圖ニ依ル

0322

二四師作命甲第五十七號

第百十四師團命令 於二月八日午後八時

一 菓園村△⁴⁸²高地以北ハ各要線ヲ莫々占領セル縱深アル陣地ナルモノ、

如シ

第六師團ト作戰地境ハ西灣村—安德門東方十字路—南京

南門ノ線トス

二 師團ハ當面ノ敵ヲ突破シテ速ニ南京ニ肉迫セントス

三 歩兵第百二十七旅團(歩兵第六十六聯隊及歩兵第百二聯隊之中

隊缺)ハ司徒村附近ニ展開シ明拂曉ヨリ當面ノ敵ヲ攻撃スヘシ

四 輕裝甲車隊ハ秋山旅團ノ攻撃ニ協力スヘシ

五 野砲兵第百二十聯隊ハ灣里附近ニ陣地ヲ占領シ明拂曉ヨリ

秋山旅團ノ攻撃ニ協力スヘシ

六 步兵第六十六聯隊及同第百十五聯隊第三中隊ハ速ニ灣里附

近ニ集結シ余ノ直轄タルヘシ

七 工兵第百十四聯隊ハ第一線ノ前進ニ伴ヒ遂次灣里―陳墟橋
―蘇田橋―南京道ヲ野砲通過ノ目的ヲ以テ改修スヘシ
八 余ハ灣里ニ在リ

師團長 末松中將

下達法

命令受領者ヲ集メ口達筆記セン

0324

二四師作命甲第五十八號

第一百十四師團命令

於十月十日午前五時三十分
於菓園村

一 前面、敵ハ退却セルモノ、如シ

二 師團ハ南京ニ向ヒ敵ヲ追撃セントス

三 秋山旅團ハ先ツ蘇田ニ向ヒ本道方向ヨリ敵ヲ急追スヘシ

四 爾余、諸隊ハ概ネ左ノ順序ニ本道上ヨリ敵ヲ追撃スヘシ

稻垣大隊、一中隊、師團司令部一班、稻垣大隊主力、工兵

聯隊、奧旅團、主力

五 騎兵、師團司令部二班、野砲兵、野戰重砲兵、師團通信隊、衛生

隊、野戰病院、給水班ハ概ネ列記ノ順序ニ拂曉後師團主力ニ追及

スヘシ

直接掩護、爲奧旅團ヨリ歩兵一中隊ヲ配屬ス

師團長 末松中將

下達法 命令受領者ヲ集メ口達筆記セズ

其五 南京附近ノ戦鬪

秋山旅團八九日將軍山附近ノ敵ヲ突破シテ直チニ追撃ヲ敢行シ
十日五時頃其ノ先頭ヲ以テ林家崗附近ニ達セリ

旅團八道ニ南京南門ノ蘇田橋道西側地区ヨリ逐次前方ニ其兵カラ推
進シテ遂ニ雨花台附近ニ進出セシトセシニ花神廟附近ニ於テ一連ノ敵陣地
ニ遭遇スルニ至リタル爲秋山旅團八道チニ之ニ對シ攻撃ヲ開始セリ師團長

ハ秋山旅團ノ後方ヲ前進シテ午前八時頃蘇田橋十字路附近ニ達ス
時蘭旅團及砲兵隊ノ主力等ハ其ノ後方ヲ追及中ナリ師團長ノ意

旅團當面ノ敵情ヲ以テ雨花台附近ニ據ル敵ノ最後ノ抵抗ナリト判断シ
直チ之ヲ攻撃スルニ決シ午前八時以來逐次到着スル部隊ヲ部署シテ之

ヲ戦鬪ニ加入セシメ(三四師作命甲第五十九號)乃チ秋山旅團ヲ以テ花神

廟附近ヨリ雨花台ニ向ヒ攻撃セシムル共ニ奥旅團ヲ其ノ東側周家樓子附

近ヨリ周家崗ニ向ヒ攻撃セシムルニ與テ旅團ハ方山東方地区ヨリ連續進軍
早以テ九日夜半過永康庵附近ニ到着シ引續キ前進シタル途申ニ於ケル道

路不良ナリシ爲蘇田橋附近ニ到着シタルハ午前九時ニ近ク周家橋ヲ北側地
 區ニ其ノ展開ヲ完了シタルハ正午過トナレリ砲兵ハ永慶庵蘇田橋道ノ意
 外ニ不良ナリシタメ容易ニ戰場ニ到着スル能ハス花神廟附近ニ陣地ヲ
 占領シテモトシテ秋山旅團ノ戦闘ニ協カスヘキヲ命ジタルモ正午頃マテニ到
 着シ得タルハ僅ニ教門ニ過キサリシ夕刻迄ハ野砲重砲ノ大半到着シテ
 戦闘ニ参加スルニ至リ永慶庵蘇田橋道ノ道路改修ニ任シアリシ工兵聯隊亦正午ニ
 近ク戰場ニ到着シタルヲ以テ直ニ其ノ主力ヲ兩旅團ニ分屬セシム
 斯テ我第一線ハ右ヨリ左ニ順序ヲ以テ銳意攻撃ヲ行シタルモ敵ハ曾
 家門附近ヨリ自家永祠附近ニ退却線以北ニ教線ニ當リ堅固ニ陣地ヲ占領シ
 多数ノ輕重機迫撃砲ヲ有シ間斷ナク射撃ヲシテ我カ突破ヲ許サス十日夕刻
 我第一線ハ漸ク提防附近ノ障礙物ヲ有スル敵ト一ツカ陣地ニ近迫シ得
 ンレニ過ス師團司令部ハ午後四時朱家橋ヲ北方高地ニ前進ス
 師團長ハ重兵ヲ曾家門附近ヨリ南京東南角方向ニ保持シテ
 夜ニ入ルモ攻勢ヲ續行スルニ決シ午後六時之ヲ部署ヲ爲セリ(一二四師作
 命甲第六〇號)

乃千両旅團ノ作戰地境ヲ更ニ東方ニ變換スルト共ニ砲兵ノ主力ヲ固
家樓子附近ニ陣地貞領セシメ主トシテ奧旅團ノ戰鬥ニ協力セシム
斯テ諸隊ハ夜ニ入ルモ攻撃ヲ續行シ逐次敵線ヲ突破シテ十二
日午後固家凹雨花台ノ線ニ進出シソノ一部ハ遂ニ城壁ニ突入ス
ルニ至レリ

コノ間師團ハ或ハ独立機關銃大隊ヲ兩翼隊ニ増加シ或ハ砲兵ノ
一部ヲ兩翼隊ニ配屬スル等極力第一線ノ戰鬥進捗ニ努ム

十二日夕師團ハ主力ヲ雨花台固家凹線以南ノ地區ニ集結シ一部
ヲ以テ城内ヲ投蕩スルタメ所要ノ部署ヲ爲セリ

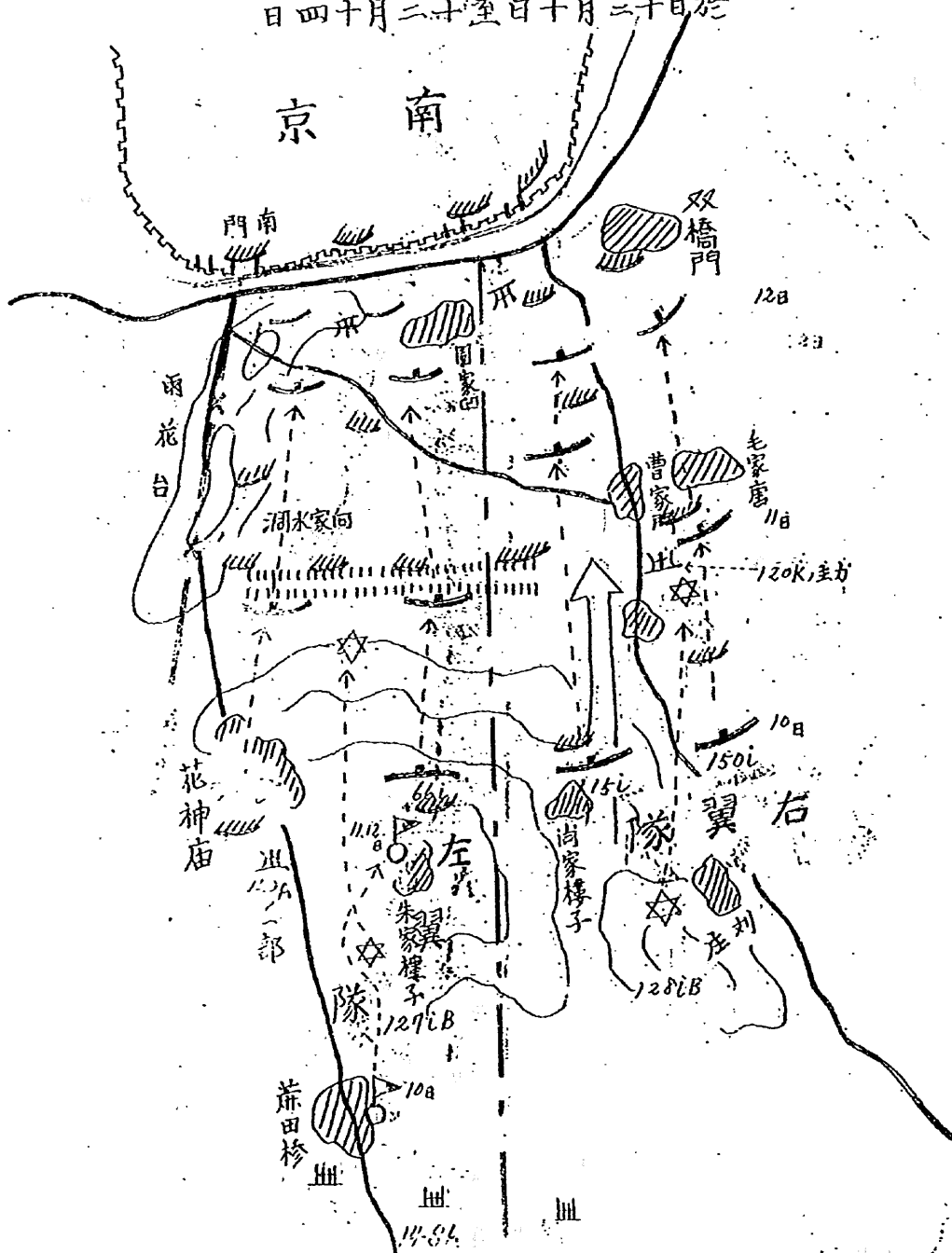
然ルニ十三日朝ニ至リ城内ノ敵殲滅ノ爲ニハアラユル手段ヲ盡ス
ヘキ軍命令ニ接シ師團ハ主力ヲ以テ城内ノ敵ヲ投蕩スルニ決シ
更ニ部署スル所アリタリ(二四師作命甲第六十三號)

諸隊ハ城内ニ突入シ殘敵ヲ投討シテ十三日夕遂ニ南京城内ノ
投討ヲ概不完了スルニ至リ師團司令部ハ同日午後入城セリ

十四

圖要過經鬪戰近附京南

日四十月二十至日十月二十自於



二四師作命甲第五十九番

第百十四師團命令

十二月十日午前八時
於藤田橋北方高地

一、當面ノ敵ハ逐次退却シツツアリ

二、師團ハ其重点ヲ兩花台ニ指向スル如ク敵ヲ攻撃シテ周家凹、兩

花台ノ線ニ進出セントス

三、秋山旅團ハ當面ノ敵ヲ攻撃シテ兩花台附近ニ進出スヘシ

工兵第一中隊(三小隊欠)ヲ配屬ス

四、奧旅團ハ當面ノ敵ヲ攻撃シテ周家凹附近ニ進出スヘシ

工兵第二中隊(三小隊欠)ヲ配屬ス

五、西旅團ノ戰鬥地域ノ境界ハ周家凹西端及其南方面兩点線路ノ

線(線上ハ奧旅團ニ屬ス)トス

六、砲兵聯隊ハ花神庙附近ニ陣地ヲ台領シ主カク以テ秋山旅團

一部ヲ以テ奧旅團ノ戰鬥ニ協力スヘシ

七、工兵聯隊ハ第一中隊(三小隊欠)ヲ秋山旅團第二中隊(三小隊欠)

ヲ奥旅團ニ配屬シテ余ハ現在地附近ニ位置スヘシ
ハ輕裝甲車隊ハ主カヲ以テ秋山旅團ノ一部ヲ以テ奥旅團ノ
戦斗ニ協力スヘシ

九師團通信隊ハ師團司令部ト兩旅團間ノ通信連絡ニ任スヘシ
十尔余ハ現在地附近ニ位置スヘシ

歩兵第六十六聯隊第一大隊ハ予備隊トナリ現在地ニ位置スヘシ
十騎兵大隊ハ到着スルニ從ヒ現在地^{附近}集結シ奥旅團ノ右翼方
面ヲ對スル進出ヲ準備スヘシ

十二予ハ現在地ニ在リ後秋山旅團ノ後方ヲ兩花台ニ向ヒ前進ス

師團長 末松 中 將

下達法

部隊ノ到着ニ從ヒ直接部隊長ニ口達筆記セシム

0331

軍隊区分

右翼隊

長 歩兵第百二十八旅團長

奥 少 將

歩兵第百二十八旅團(未到着部隊欠)

野砲一中隊

工兵第百十四聯隊(第二中隊欠)

左翼隊

長 歩兵第百二十六旅團長

秋 山 少 將

歩兵第百二十六旅團(未到着部隊及歩兵第百十六聯隊第一大隊欠)

野砲一中隊

工兵第二中隊(二小隊欠)

砲兵隊

長 野戰重砲兵第十四聯隊長

井 手 大 佐

野砲兵第百二十聯隊(二中隊及未到着部隊欠)

野戰重砲兵第十四聯隊(第一大隊聯隊餞列半部及未到着部隊欠)

騎兵隊

騎兵第百十八大隊(一小隊欠)

豫備隊

歩兵第六十六聯隊第一大隊(第五中隊欠)

工兵第二中隊(一小隊)

0333

一二四師作命甲第六十號

第一百十四師團命令

十二月十日午後六時
於朱家樓子北方高地

一 敵ハ我敵降ヲ容レス南京城外一連ノ陣地ニ於テ最後ノ抵抗ヲ
辛フシテ保持シアリ

二 師團ハ主カヲ曾家門一南京城東南角方面ニ保持シテ夜ニ入ルニ
攻撃ヲ續行シ速ニ待望ノ南京攻畧ヲ決行セントス

三 右翼隊ハ主カヲ右羽翼ニ保持シテ當面ノ敵ヲ攻撃シ周家凹東
方地区ニ進出シ其一部ヲ以テ南京城東南角及共和門(通着門)
ニ突入スヘシ

四 左翼隊ハ依然攻撃ヲ續行シテ雨花台ニ進出シ其一部ヲ以テ
南門及其東側城壁ニ突入スヘシ

五 兩翼隊戰鬥地域ノ境界ハ周家凹一鮮魚窰一周家樓子ノ線
(線上ハ左羽翼隊ニ屬ス)トス

六 砲兵隊ハ主カヲ以テ周家樓子各一部ヲ以テ花神廟及牛王村

北方地区ニ陣地ヲ占領シ敵砲兵ノ制圧城壁ノ破壊ニ任シ且ツ主
 カヲ以テ右翼隊ノ一部ヲ左翼隊ノ戦斗ニ直接協同スヘシ
 又騎兵隊ハ燕子山附近ニ在リテ前任務ヲ續行スヘシ
 ハ輕裝甲車隊ハ主カヲ以テ右翼隊ノ一部ヲ以テ左翼隊ノ戦
 斗ニ協力スヘシ
 九工兵小隊ハ砲兵隊ノ陣地進入ヲ援助シタル後朱家樓子北方
 凹地ニ至リ豫備隊タルヘシ
 十師團通信隊ハ右翼隊砲兵隊及騎兵隊ト師團司令部ト通
 信聯絡ニ任スヘシ
 十一豫備隊ハ朱家樓子北方凹地ニ位置スヘシ
 十二衛生隊ハ丁家巷ニ繙帶所ヲ開設スヘシ
 十三第二野戰病院ハ丁家巷ニ病院ヲ開設スヘシ
 十四予ハ朱家樓子北方五百米ノ高地ニ在リ

師團長 米松 中將

下達

命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

一四師作命甲第六十二號

第百十四師團命令 於十月十三日午前九時

一城ハ敵ハ頑強ニ抵抗シツアリ

國崎支隊ハ既ニ浦口ニ達シ敵ノ退路ヲ遮断シアリ 集團ノ

掃討地区ハ共和門一公園道一中正道一漢中路ノ線(含ム)以南ノ

地区トス

一師團ハ攻撃ヲ續行シ城ハ敵ヲ殲滅セントス

一兩翼隊ハ城ハ進入シ砲撃ハ固ヨリ凡エル手段ヲ盡シテ敵ヲ

殲滅スヘシ

之ヲ為要スレバ城ヲ燒却シ特ニ敵ノ欺騙行為ニ乘セシ

サルヲ要ス

面翼隊砲兵ノ配屬ヲ解ク
四砲兵隊ハ逐次陣地ヲ曾家門李家四附近ノ線ニ推進シ城内ノ
破壊ニ任シ且兩翼隊ノ城内掃討ニ協カスヘシ
五騎兵隊ハ前任務ヲ續行スヘシ
六戰車第五大隊ハ城内ニ進入シ兩翼隊ノ掃討ニ協カスヘシ
七師團通信隊ハ前任務ヲ續行スヘシ
八豫備隊ハ箕家門(曾家門)ニ位置スヘシ
九予ハ箕家門(曾家門)ニ至ル

師團長 末松中將

下達法

要旨ヲ電話シ後命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

0337

第一 序 見

一 戰場ノ地形ト敵陣地施設ニ對スル觀察

戰場一般ノ地形ハ湖東平地ノ如ククリークレノ數多カラスト雖起伏

多ク蔭蔽錯雜ニシテ展望不良ナリ

南京南方ノ台地ニ於テ殊ニ然リ

敵ハコノ地形ヲ利用シテ數線ニ鉄條網ヲ有スルトイハレ陣

地ヲ構築シ且巧ミニ偽装シアルタメ之カ偵察ニハ特別ノ困難

ヲ感シタリ

飛行機ノ通報ノ如キニ概畧ノ陣地線ハ示サレアルモノトイハレ

位置ノ如キハ確認シ得サルカ如シ

今回ノ攻撃ハ之ヲ充分ニ施設セラレタル陣地ニ對シ殆ント奇

襲的遭遇戰的ニ攻撃ヲ敢行シタルモノニシテ準備ニ於テハ

必スシモ遺憾ナシト断言シ得サルモノアリト雖志氣上ニ於ケル差

異、他前述ノ地形ニヨリ却テ我ハ隱蔽近接シテ一撃ニ突撃ス

ルノ利点ヲ獲得シ比較的損害ヲ少クシテ成功ヲ見ルニ至リタルニ
ノト思考ス

本地方ノ作戰ニ於テハ成ルヘク多クノ山砲ヲ有セシムルヲ
可トス

如何ニ奇襲的ニ攻撃スル場合ト雖施設充分ナル陣地ニ對シテ
ハ必ズ砲兵火力ノ協カヲ得ルコト必要ナリ

而シテ前述ノ如キ波狀地帯ナルニ鑑ミルトキ砲兵ハ山砲ヲ可トシ
成ルヘク多ク之ヲ有セシムルヲ適當ナリト思考ス

本地方ノ作戰ニ於テハ成ルヘク多クノ工兵ヲ有セシムルヲ可トス
之ヲ爲師團工兵聯隊ノ中隊數ハ三個ナルヲ要ス

本地方ハ比較的コクリクノ數少シト雖猶多數ノ橋梁破壞サレ
アルタメニ全般ノ行動力著シク阻害セラルタル例少ナカラス

且道路外ヲ車輛ノ通過スルコト困難ナルタメ砲兵陣地ノ如キハ道
路ニ沿ヒテ重疊配備セサルノ止ムヲ得サルニ至リシコト少ナカラス

之等ノ不利ヲ速カニ匿スルタメニハ努メテ多クノ工兵ヲ使用
シ得シムルヲ要ス

歩工兵ノ協カニヨリ障地直前ノ障碍物ヲ破壊セサルヘカラサ
ル場合多キニ於テ殊ニ然リ

之ガタメ師團工兵ノ中隊數ハ三個トスルヲ要ス

ニヤ中隊ハ工兵兵カノ重点形成ニ於テ亦不利ナルモノアリ

四特設師團ニモ中隊ニ少クモ一人ノ現役將校ヲ有セシムルヲ要ス

特設師團ニ於テ尤モ感スルハ幹部特ニ中隊長以下ノ幹部
ノ能力不充分ナルオト也ナリ

而シテソノ原因ハ之等幹部ノ殆ント全部カ予後備ヲ以テ
充當セラレアルニヨラスンハアラス

兵ノ能力勇敢サニ於テハ見ルヘキモノ少ナカラス

唯中隊長以下ノ幹部ノ能力足ラサルタメ隊トシテノ活動價
値ニ於テ甚タ遺憾ニ感セラレタルモノナシトセス

之ヲ為少クモ中隊内ニ活動ノ基幹タルヘキ現役將校一人
ヲ有セシムルヲ必要ナリト感ス

0341

第三 我損害使用彈藥敵遺棄屍体戦利品

- 一 我損害情況附表第一其一其二其三ノ如シ
- 二 射耗彈藥及使用爆藥概數表附表第二其一其二ノ如シ
- 三 敵遺棄屍体ノ概數別表第三ノ如シ
- 四 我戦利品ノ概數附表第四ノ如シ

輜重 一一四	工 一一四	野砲 一一〇	騎 一一八	旅八二一歩		旅七二一歩		司令部	司令部	部 隊 區 分	戰 死 戰 傷 戰 傷 死
				一五	一	一〇	六				
						三				以准士官	
					五	一	四			兵下士官	
						一	六			以准士官	
						三	三			兵下士官	
										以准士官	
							八			兵下士官	

附表第一其
 綾陵関附近戦傷者
 第一百十四師團司令部

計	野 重 砲	D 通 信	D 衛 生
四			一
三			
一			
七		三	六
一			
八			

0344

新	野 重 砲	ノ 通 信	ノ 衛 生
一			
二			
三			
ノ 又			
一			

0346

輜 重 一 二 四	工 一 一 四	野 砲 一 二 〇	騎 一 一 八	旅八＝一步			旅七＝一步			司 令 部	部 隊 區 分	
				一 五 〇	一 一 五	司 令 部	一 〇 二	六 六	司 令 部		以 准 士 官	兵
				一	七		二	三			戰	死
	六	一		六	六		三	一			戰	傷
				八	一		一				戰	傷
	三	一		一	二		一	八			戰	傷
											戰	傷
					三		三				戰	死

附表第一其三

南京附近戰死傷者表

第一百十四師團司令部

計	野重砲	口通信	口衛生
一五	≡		
一九	≡		一
二六	一		
六五	一 二		≡
六			

0348

附表第 二
其 一

射耗彈藥數概數調査表

昭和十三年十二月十五日
未 松 部 隊

品 目	戰前携行數	受 數	射 耗 數	殘 數	補填ヲ要スル貧數	摘 要
三八式銃弾	六九七九六	二二、三二	五九、一七	二四、九四	四六、四六	本表射耗彈藥ハ金山衛城上陸以後十南京ニ至ル間ノ射耗彈藥トス
三一式機関銃弾	八三、八〇	七、三二	二、三四	六、六六	一、四一	
二十六式拳銃弾	四、五六	一	三、八七	四、八一	三、八七	
九一式或火手榴彈	一四、四〇	六、四八	四、五〇	一、三三	二、二二	
九一式手射歩兵砲彈藥	六、五七	一、〇五	六、〇〇	三、〇〇	一	
九一式歩兵砲彈藥	三、五七	一	四、五〇	三、一一	四、五〇	
三一式山砲彈藥	一、一八	一	六、五〇	六、三八	六、五〇	
三八式野砲榴彈	七、〇四	二、二	三、五七	四、三九	一	
同榴霰彈	七、三六	二、四	九、一一	六、三六	六、七一	
四年式十打榴彈砲榴彈	一、二四	一	一、〇六	一、三四	一、〇六	
同榴霰彈	九、四	一	七、七	一、七	七、七	

備 考	九 四 式 發 煙 筒
	六 六 リ
	八 ハ リ
	八 マ リ
	六 四 リ
	一

0350

附表第二其二

使用爆薬概数調査表

備考	品目	区分		戦前 携行数	受 数	使用 数	残 数	補 償 数	摘 要
		黄色 薬	雷 管						
一本表ノ数量ハ概数ニシテ遂次訂正ヲ要スルモノトス	爆發 錐	ニニ四	一六〇			三三	一九〇	三三	
	點 火 管		一〇〇			一〇〇	六五	一〇〇	トス
	緩 燃 道 火 索	ハニ〇米	一〇〇米			三三	七二米	一〇〇米	使用セルモノ
	雷 管	三三	三三			三三	六一	三三	戦中ニ於テ
	黄 色 薬	七九	五三			五三	七四	止	南京附近ノ

別表第三

敵遺棄屍体調査概数表

戦斗名	屍体数
練後関附近の戦斗	約二〇〇
方山附近の戦斗	調査中
將軍山附近の戦斗	八〇〇
南京附近の戦斗	五〇〇
計	六〇〇

0352

附表 陸軍 押収兵器目録

品目	甲	乙	丙	計	自隊利用数	送致数	棄却数
小銃	二九	七三	八五	八四	一三	(七三) 一六	八五
軽機関銃	四		七	四	一	(四) 一	八
重機関銃		一		一		一	
迫撃砲	四	一		五		(四) 一	
機関銃	二			二		(二) 一	
山砲	三			三		三	
速射砲	二			二		(二) 一	
拳銃	二	三		五		(三) 一	
銃剣			二	二		(二) 一	
小銃実包	七六			七六		(七六) 一	
手榴弾	二			二		二	
火薬箱	二			二		二	

考	備	青龍刀	毛ビール	ガソリン	電話線	電話機	十字鋏	四匙	自動車	自轉車	歩兵砲障
六甲八使用ヲ封スルモノ、乙ハ補修ヲ要スルモノ、丙ハ使用出来サルモノヲ示ス、	ハガソリン及毛ビールハ標水及宜興ニ於テ押收シ直ニ通過各部隊ノ爲ニ補給所ヲ前設ス ハ小銃実包一、〇〇〇、〇〇〇、四匙、電話線止ハ南滿鎮ニ於テ押收シ兵站ニ送附セリ ハ備考、イニ以外之ハ南京戦ニ於テ押收セリ ハ四送致教中(一)ヲ附セルハ部隊ヲ直接野戰砲兵廠ニ送達セルモノトス ハ其他迫撃砲、機関銃、自動小銃、馬具、兵器、器具ヲ多数(数量不明)ヲ南京金陵兵工廠 ハ丙ニ於テ押收シ同地ニ於テ野戰砲兵廠ニ送達ス ハ六甲八使用ヲ封スルモノ、乙ハ補修ヲ要スルモノ、丙ハ使用出来サルモノヲ示ス、	一	六止 籠	六止 ガソリン	止	一七	一七	六六	一	二八	一 二
						一七			一	二八	
									三	二八	
		一	六止	六止 ガソリン	止	一七	一七	六六	五	三	一 二
									二	二	
						(一七)	(一七)	(三六) 三			(一 二)
		一	六止	六止 ガソリン	止						
										二八	

0354